

佐藤民實 さとう たみじみ 小説家。明治四十五年二月二日福島縣生れ。昭和五
 十二年五月十九日没（二九二一七）。本名年實。昭和十年法政大學社會
 學部卒。十建會社經營者を経て、昭和二十八年福島民報社入社、編集局
 長、取締役歴任。同人誌『現實』、『槐』、『構想』に加はり、戦後
 『大地』主宰。

著書 農民小説集 『收穫』（本名、合著、鎌山博士編、昭和十一年十一月）
 『二十五日日本六論社』、短篇集『希望峰』（昭和十四年二月五日砂子
 屋書房『新農民文學叢書』）、『新農民文學論』（昭和十四年四月一
 十五日日本六論社）、『白虎隊』（昭和十九年四月十日時代社、日本
 放送出版協會）、『華屋行路―瓜生君子傳』（昭和十九年十一月十七
 日矢貴書店）、『小説十一人集』（合著、新日本文學會編、昭和二十
 一年一月）『千五百長崎・新興藝術社』、『黎明（農民小説傑作選）』
 （合著、昭和二十一年七月十五日赤坂書店）、『小原庄助』（昭和二十
 八年十一月五日山田書店）等。

